

様式1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	4-(3)-ア	多様な分野における国際協力・貢献活動の推進	施 策	①環境・エネルギー分野における国際協力の推進
			施策の小項目名	○島しょ地域における環境問題や再生可能エネルギーの技術交流・技術協力等
主な取組	島しょ間の環境課題に対する協力ネットワークの構築		対応する成果指標	国際会議等において知見を共有した海外地域の数
施策の方向	・持続可能な循環型社会を実現するため、クリーンエネルギー協力覚書を締結しているハワイ州等とも連携しながら、島しょ地域間の交流と協力体制の構築を目指すグローバルグリーンアイランドサミット（GGIS）フォーラム等の国際会議への参加や開催、海外研修生の受入れ等を通して、外来種問題、海洋ごみを含むごみ処理問題、再生可能エネルギーの導入促進など、島しょ地域における環境問題や再生可能エネルギーの技術交流・技術協力等に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
平成28年度に締結したグリーンアイランドパートナーシップ設立に関する合意書の内容（島しょ地域が直面する環境課題の認識及び島しょの持続可能な取組の強化等）を実現するため、世界の島しょ間協力ネットワークを構築する。	県, 濟州特別自治道, ハワイ州, 海南省, 等	国際会議（グローバルグリーンアイランドサミット）の開催、フォーラム等への参加		
		開催・参加回数（累計）		
		1回	1回（2回）	1回（3回）
担当部課【連絡先】	環境部環境政策課	【 098-866-2183 】	関連URL	—

様式1（主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況						(単位：千円)					
予算事業名			グローバルグリーンアイランドサミット（GGIS）推進事業			予算事業名			グローバルグリーンアイランドサミット（GGIS）推進事業		
主な財源		実施方法		R5年度 決算額	R6年度 決算見込額	R7年度					
						主な財源		実施方法		当初予算額	
県単等		直接実施		256	360	県単等		直接実施		1,321	
令和6年度活動内容						令和7年度活動計画					
GGISフォーラムが開催されなかったため、代替の取組として、韓国・済州主催の「世界の地方自治体によるサイバー環境フォーラム」に参加した。						GGISフォーラムに参加し、パートナーシップ締結自治体との情報共有・連携を図る。					

活動指標名		開催・参加回数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
		R4年度	R5年度	実績値（A）	目標値（B）	達成割合 A/B		
実績値		Web開催のサイバー環境フォーラムに参加	Web開催のサイバー環境フォーラムに参加	1回	1回（3回）	100.0%	順調	令和2年度以降、第2回GGISフォーラムが開催されていないため、代わりに済州主催のWeb会議に参加することで、島しょ地域や国際機関等の環境課題に関する情報共有ができた。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

未開催となっているGGISフォーラムに代えて、韓国・済州主催のWeb会議に参加することで島しょ地域や国際機関等の環境課題に関する情報共有ができたことから「順調」と判断した。

(2) これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
関係が継続している済州と引き続き連携し、島しょ地域の環境課題に関する情報収集等を行う。	パートナーシップを結んだ済州のネットワークを活用したWeb会議への参加により、島しょ地域や国際機関等と環境課題に関する情報共有を図ることができた。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑥ 他地域等の動向 （外部環境の変化）	令和2年度以降、フォーラムが開催されていない。事務局であるハワイがどのように進めるか未定。	⑥ 変化に対応した取組の改善	GGISフォーラムの今後の開催について検討するため、開催事務局であるハワイはじめ、パートナーシップ参画自治体に呼び掛ける。

様式 1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	4-(3)-ア	多様な分野における国際協力・貢献活動の推進	施 策	①環境・エネルギー分野における国際協力の推進
			施策の小項目名	○赤土等流出防止対策技術に関する情報発信や技術移転
主な取組	赤土等流出防止対策技術に関する情報発信の強化		対応する成果指標	国際会議等において知見を共有した海外地域の数
施策の方向	・土壌流出は東南アジアや太平洋島しょ国等でも問題になっていることから、本県の赤土等流出防止対策技術に関する情報発信や技術移転等に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
土壌流出は東南アジアや太平洋島しょ国等でも問題になっていることから、本県の赤土等流出防止対策技術に関する情報発信や技術移転等に取り組む。	県	条例、指針、技術関連資料の英訳とホームページでの公開		
		ホームページで公開する英訳した赤土等流出防止対策関連資料の件数(累計)		
		3件	4件(7件)	4件(11件)
担当部課【連絡先】	環境部環境保全課 【 098-866-2236 】		関連URL	https://www.pref.okinawa.jp/kurashikankyo/kankyo/1004750/1018610/1004798/index.html

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名赤土等流出防止対策推進事業

主な財源

実施方法

R5年度
決算額

R6年度
決算見込額

県単等

直接実施

9,863

14,621

令和6年度活動内容

赤土等流出防止対策技術に関する資料の英語版を作成し、県ホームページに掲載した。

(単位：千円)

予算事業名赤土等流出防止対策推進事業

R7年度

主な財源

実施方法

当初予算額

県単等

直接実施

11,766

令和7年度活動計画

赤土等流出防止対策技術に関する資料の英語版を作成し、県ホームページに掲載する。

活動指標名	ホームページで公開する英訳した赤土等流出防止対策関連資料の件数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		農地における赤土等流出防止対策について、英語版資料を4件作成し、県HPで公表した。
	3件	4件	4件	4 件（11件）	100.0%		
						順調	

様式 1 （主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
農地における赤土等流出防止対策について、英語版資料を 4 件作成し、県HPで公表したことで目標達成したため順調とした。当該取組により、農地からの効果的な赤土等流出防止対策の情報を広く発信できた。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
○ 引き続き、既存の赤土等流出防止対策技術等に関する資料の英語版を作成し、県ホームページに掲載し、広く情報を発信する。	農地からの赤土等流出量は県全体の 8 割を占めるが、農地における赤土等流出防止対策技術に関する英語資料が存在していなかったことから、英語版を作成し、県ホームページに掲載することで、広く情報を発信できた。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	赤土等流出防止に関する資料について、海外を含めた幅広い層への情報提供する必要がある。	⑤ 情報発信等の強化・改善	既存もしくは新規の赤土等流出防止に関する広報資料等の英語版を作成して、県ホームページに掲載し、広く情報を発信する。

様式1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	4-(3)-ア	多様な分野における国際協力・貢献活動の推進	施 策	①環境・エネルギー分野における国際協力の推進
			施策の小項目名	○国立沖縄自然史博物館の設置促進
主な取組	国立沖縄自然史博物館誘致に係るイベント開催		対応する成果指標	国際会議等において知見を共有した海外地域の数
施策の方向	・東アジア、東南アジア全体の自然史科学を支える研究及び人材育成の拠点となる「国立沖縄自然史博物館」の県内への誘致に向けて、シンポジウムの開催や関係団体等への説明会の開催など、県民の気運醸成に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
沖縄県に国立自然史博物館を誘致するため、国への要請、シンポジウムや関係団体等への説明会など、機運醸成に向けた取組を実施する。	県	認知度の向上及び機運醸成を図るためのシンポジウム・企画展等周知啓発イベントの開催		
		シンポジウム等周知啓発イベントの開催数（累計）		
		5回	5回（10回）	5回（15回）
担当部課【連絡先】	環境部自然保護課	【 098-866-2243 】	関連URL	https://www.pref.okinawa.lg.jp/site/kankyo/shizen/shizenshihakubutsukan.html

様式 1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名 国立自然史博物館誘致推進事業				予算事業名 国立自然史博物館誘致推進事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額	R7年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	28,467	31,584	県単等	委託	34,131
令和6年度活動内容				令和7年度活動計画		
県内シンポジウム、県内5圏域での企画展や周知イベントを行った。				県内シンポジウム、県内5圏域での企画展や周知イベントを行う。		

活動指標名	シンポジウム等周知啓発イベントの開催数(累計)		R6年度			進捗状況	活動概要
	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	7回	9回	8回	5回(15回)	100.0%	順調	県内シンポジウム(沖縄市)を11月10日に実施した。また、県内5圏域(7ヵ所)で企画展を実施した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

令和6年度は、シンポジウム(1回)、企画展(7回)を合計8回開催し、目標値を上回った。県内シンポジウムには約300名の参加があるなど、機運醸成が図られた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
大型商業施設などでのイベントを行うなど、普及啓発方法を工夫しながら、さらなる認知度の向上および機運醸成を図る。	小・中・高校生参加型シンポジウムや沖縄美ら島水族館、産業まつりと連携した企画展を実施し、認知度の向上および機運醸成を図った。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
② 他の実施主体の状況（内部要因）	県内市町村等に協力を仰ぎ、引き続き普及啓発に取り組み、さらなる認知度の向上および機運醸成を図っていく必要がある。	② 連携の強化・改善	県内市町村等に協力いただき、大型イベントと連携した展示や、大型商業施設における開催など、普及啓発方法を工夫しながら、さらなる認知度の向上および機運醸成を図る。